

アジア研究所公開講座



※写真は第3回開催時のもの

活動の概要

- 主催
アジア研究所
- 開催日
令和7年5月17日～6月7日
(全4回・毎週土曜日)
- 開催形式
全てハイブリッド開催
- 参加者(一般公開)
学生・教職員、研究者、地域市民

(目的)

令和7年度は「急変する韓国情勢」を共通テーマとして開催。2024年末の戒厳令発令、年明けのトランプ米政権の再登場などを背景に、急変する韓国情勢を国内政治、南北関係、日韓関係、米中との経済関係を切り口に分析・展望した。

(活動内容・成果)

◎第1回

「45年ぶりの戒厳令、韓国政治の両極化とその背景」

講師：牧野 愛博(朝日新聞外交専門記者)

◎第2回

「トランプ政権下の朝鮮半島の安全保障」

講師：倉田 秀也(防衛大学校)

◎第3回

「尹錫悦政権の<不在>と日韓関係」

講師：奥田 聡(本学アジア研究所)

◎第4回

「困難に直面する韓国の中・対米経済ビジネス関係」

講師：百本 和弘(ジェトロ)

以上4つのテーマで講演を行い、国内外から計444人が聴講した。



(今後の課題・目標)

前年度から聴講者を約100人増やし、講演内容について様々なニーズや感想が聞かれるようになった。講師に研究者だけでなく、ジャーナリストを招聘しデータや数字に加え、リアルな現場の声や見通しを解説する講座にする。